

総理は訪沖前に遺骨土砂使用断念を表明せよ

慰霊の日直前 6.18 政府（防衛省・内閣府）交渉

戦没者遺骨を海に捨てながら手を合わせることができるのか

- あつまれ辺野古@関東
- 平和をつくり出す宗教者ネット
- 基地のない沖縄をめざす宗教者の集い
- 日本山妙法寺
- 首都圏反基地交流会
- 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック
- 沖縄の戦いに連帯する関東の会
- 日本カトリック正義と平和協議会
- 「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会
- 語やびら沖縄 もあい練馬
- 東京・地域ネットワーク
- フォーラム平和・人権・環境
- 平和と民主主義をめざす全国交換会
- 憲法9条を壊すな！実行委員会
- 許すな！憲法改悪・市民連絡会（以上協賛団体）



6月23日は沖縄戦戦没者の慰霊の日。岸田総理が訪沖して慰霊祭に参加する。岸田総理は既に収容された墓苑の遺骨に対しては哀悼の誠を捧げると手を手向けつつ未収容の遺骨に対しては、敵軍であった米軍の基地建設に土砂と共に海に捨てようとしている。これは戦没者に対する裏切りであり冒とくである。

戦没者は沖縄戦では米軍に殺され、今は日本政府に再び殺されようとしている。戦没者遺骨とはDNA鑑定で家族の元へ帰る権利を持ち、国にとっては家族に帰す責任のある戦死者のことだ。法律「戦没者の遺骨収集の促進に関する法律」があるにもかかわらず、戦没者と遺族を冒涇するのが日本政府の辺野古埋立政策である。

岸田総理は慰霊の日に沖縄に来るのであれば、辺野古の埋め立てに南部の土砂は使わないことを表明してから来るべきだ。戦没者遺骨を海に捨てながら手を合わせることができるのか。6月18日沖縄慰霊の日を前に東京・国会議員会館において、内閣府および防衛省と政府交渉を行う。すでに岸田総理に要請書を提出してあり6月18日は回答をせまる。回答によっては20日から仲間とともに沖縄で慰霊祭までハンストに入る決意です！断念を表明せず戦没者を冒涇するならば、沖縄には来ないでいただきたい。

■日時 2024年6月18日（火） 14時～16時 マスコミフルオープン

■場所 衆議院第1議員会館1階・多目的ホール

■主催 沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤー 代表 具志堅隆松

■連絡先 具志堅 090-3796-3132 事務局：上田 090-2062-5695

内閣総理大臣
岸田文雄 様

2024年5月 日

岸田総理が6月23日に沖縄全戦没者追悼式（慰霊祭）に参加するため訪沖するにあたって次のことを要請する。

- 一、 沖縄全戦没者追悼式（慰霊祭）に参加するならば、沖縄本島南部から辺野古埋め立て土砂を採取する計画の断念を追悼式（慰霊祭）までもしくは追悼式（慰霊祭）において県民及び全国の沖縄戦遺族に対して表明すること

その理由は以下のとおりである。6月23日は沖縄戦戦没者に対する慰霊の日である。県民にとっては戦没者を偲び、不戦を誓い平和希求の思いを新たにす日である。慰霊の日の式典会場である摩文仁は沖縄戦の激戦地で、これまで収容された戦没者遺骨が安置されている「沖縄戦没者墓苑」や「平和の礎」が在り、緑地帯には未収容遺骨が残っている霊域である。その霊域での慰霊の日の総理大臣戦没者遺骨が残っている南部の土砂を辺野古の埋め立てに使おうとしている。6月23日の慰霊の日に総理がやろうとしていることは、既に収容された墓苑の遺骨に対しては哀悼の誠を捧げると手を手向けつつ、緑地帯の未収容の遺骨に対しては、敵軍であった米軍の基地建設のために土砂と共に海に捨てようとしているのだ。これは戦没者に対する裏切りであり、冒とくである。戦没者は沖縄戦では米軍に殺され、今は日本政府に再び殺されようとしている。戦没者遺骨とはDNA鑑定で家族の元へ帰る権利を持ち、国にとっては家族に帰す責任のある戦死者のことである。そのため法律「戦没者の遺骨収集の促進に関する法律」があるにもかかわらず、戦没者と遺族を冒瀆するのが日本政府の辺野古埋立政策である。摩文仁の慰霊祭式典の場に於いて、戦没者への安寧の祈りと冒瀆という二つの相反する行為が岸田総理の胸の中で折り合いがつくのだろうか。それは県民や全国の沖縄戦遺族も到底受け入れられないことである。

岸田総理は慰霊の日に沖縄に来るのであれば、辺野古の埋め立てに南部の土砂は使わないことを表明してから来るべきだ。もしくは沖縄全戦没者追悼式（慰霊祭）当日に県民と全国の沖縄戦遺族に表明すべきだ。

沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤー 代表 具志堅隆松